

国立大学図書館協会地区協会助成事業 実施報告書

地区名	近畿地区（主担当大学：滋賀医科大学）
事業名	講演会「携帯情報端末で広がる図書館サービス」
事業目的・趣旨	ノートパソコン，携帯電話，スマートフォン，タブレット端末など，利用者が所有する携帯情報端末は多様化している。今後の図書館サービスでは，これらのデバイスを電子書籍等の利用窓口として，また，図書館からの広報（ブログ，Twitter, Facebook）の窓口として有効に活用していくことが求められている。 一方，授業での情報機器の活用も進展しており，学生の学習実態を把握しておくことは，これからの図書館サービスを企画していく上でも重要である。 本研修は，携帯情報端末の先進的な活用事例を共有し，図書館サービスへの導入・活用を促進していく契機とすることで，図書館サービスの可能性をさらに広げていくことを目的とする。
実施内容	日時：平成 25 年 9 月 19 日（木）13:30～17:00 場所：滋賀医科大学 大会議室 内容： ・講演 1「メディカル・ジャイロシステムのめざすところ～やりたい事を実現できる技術がようやく追いついてきた」 滋賀医科大学・永田啓教授 ・講演 2「看護教育における携帯情報端末の活用」 中京学院大学・古田雅俊助教 ・講演 3「携帯情報端末を活用した外国語アクティブラーニングの一例」 大阪大学・岩居弘樹教授 ・講演 4「タブレット PC の人文情報学教育への活用」 大谷大学・池田佳和教授 ・講演 5「初等中等教育における携帯情報端末の活用」 内田洋行教育総合研究所・佐藤喜信課長 ・質疑応答・意見交換
事業の成果 （アンケート調査結果，事業への意	○授業における携帯情報端末の活用事例報告を中心としたことで、図書館職員が今後図書館サービスを企画・立案していく上での新たな視点を提示することができた。アンケート結果から、概ね所期の目的を

見・感想等)	達成したものと考えられる。 ○参加者数 49 名（国立大学 15 名、公立大学 5 名、私立大学 9 名、滋賀医科大学教職員 7 名、講師 5 名、スタッフ 8 名） ○アンケート調査結果抜粋（回答 27 名、回収率 55%） ・講演会の内容（7 段階評価で平均 5.69、100 点満点換算で 81 点） ○よかった点 ・大学教育での携帯情報端末の活用について様々な観点から情報を得ることができた。 ・教育する側の具体的な話が聞けた。 ・図書館の外の講演を聞くことができ、新たな刺激を受けた。 ・タブレットを使ったときの課題、効果が理解できた。等 ○改善すべき点 ・図書館の事例が 1 つでもよいのであってほしかった。 ・講演資料は全て配付してほしい。等 ○なお、講演会に先立ち、[janul]メーリングリストで平成 25 年 8 月 5 日付け事務連絡「携帯情報端末の活用に関する情報提供のお願い」として依頼した調査の結果を機関リポジトリ「びわ庫」で公開した。 http://hdl.handle.net/10422/3933
経費	142,676 円 （交通費等：54,740 円，講演謝金：80,000 円，雑費 7,936 円）